

日本スポーツ振興センター委託事業

SAJ Divison3 地域連携強化コンソーシアム活動報告



(全日本ホームページより 参照：<http://www.ski-japan.or.jp/game/34848/>)

昨年より、日本スポーツ振興センター委託事業として、SAJ Divison3 地域連携強化コンソーシアム（以降「コンソーシアム」と呼ぶ）が始まりました。

Divisin3 とはスキー、スノーボード競技の区分でモーグル、エアリアル、スキークロス、ボードクロスを示す区分になります。

その中でモーグルとエアリアルの選手層の強化を図るために、昨年からは北海道美深町、広島県、福島県において、小学4年生から中学3年生までを対象にして選手育成が始まりました。

福島県体育協会と福島県スキー連盟とが、将来、日本代表となるようなフリースタイルモーグル、フリースタイルエアリアルの選手を目指すジュニアの育成プログラムとして始まったのです。

この事業は、今年度までの事業であり、この事業を契機として今後のジュニア育成のための継続して機会を広げていくことも目的としています。

昨年度はモーグルワールドカップ田沢湖大会の観戦も含めた合宿（参照：<http://www.ski-japan.or.jp/game/34848/>）を最後に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため SAJ の活動休止が続き、やっと9月から事業再開となりました。

再開して最初の合宿がリステル猪苗代にて9/19(土)から9/22(火)の4日間の日程で開催されました。

オフシーズンのトレーニングとして、ウォータージャンプとトランポリン、フィジカルトレーニングの合宿です。



北海道は美深と広島県、そして福島県の3地域から集まったジュニア選手の14名です。

福島県から参加の4名です。是非とも将来はナショナルチームに入ってほしいと思います。

応援よろしくお祈りします。



フィジカルトレーニングは、身体の効果的な使い方を覚えてケガを防ぐとともに、身体能力のアップを目的として、ジュニア期からしっかりと身に付けてもらいます。

写真では体幹の意識はもちろん、脊椎の負荷を正しく受け止められるような背骨を意識した姿勢の維持を身に付けようとしているところです。ナショナルチーム伊藤トレーナーによりチェックを受けています。



トレーニング前のウォームアップも入念に、トレーナーの指導でしっかりと行われました。

ジュニア期から正しく取り組み、日常的な意識として出来るようになってもらいます。



ウォータージャンプのスタートからの写真です。正直、怖いです。ここを滑り落ちて跳ぶんですから、将来が楽しみになってきます。



上村コーチから丁寧な指導を受けています。ワールドカップ、オリンピック等の国際大会での経験豊富なコーチから直接コーチを受ける機会は貴重です。



福島県から参加した中学生二人のジャンプ。技が高度になっています。



モーグルチームの反省会、夕食後に練習の反省と今後の課題について話を聴きます。

今日はどういう意識で練習して、どのような跳び方が出来たのか。次の練習では、どのようにするのか。



福島から参加の4人も真剣にノートを取りながらナショナルチーム島谷コーチの話を聴いています。

まだ皆、おとなしいです。もっと自分から意見を出せる選手に成長していきたいでしょう。



トランポリンの指導者から、本格的に指導していただいております。

この日は初めてのバックフリップに挑戦。

写真にあるような器具は、高度になっていくエアに対応するため、早くから技術を習得するのに役立ちます。



福島としても全日本としても、選手層を厚くして競技力の強化を図りたいと考えています。そのためには、多くの子供たちにスキーに興味を持ってもらって、競技を体験できる機会を増やしていきたいと考えております。

まずは、今、上を目指している選手たちを応援して、それに続くジュニアが将来を描けるような環境づくりに努めていきたいと考えております。

最後まで読んでいただきありがとうございます。